



# 2019年度がスタート！！

仲嶺 真弓

2019年度は、園児103名、職員33名でスタートです。今年度はちょうど桜も芽吹きだし、暖かい春の日差しに包まれながらのスタートです。

園長の仲嶺です。事務室で常駐していることが多い日常ではありますが、朝夕とひょっこり顔を出してくれる子どもたちに元気もらい、今年度も保育園を介して出会う人との関わりを楽しんでいきたいと思っています。

3月は、17名の子どもたちが卒園しました。卒園を祝う会での保護者がわが子に送るメッセージに「親もこのつばさ共同保育園で、子ども達とともに成長させてもらえた。」という思いを語っていたことが印象的でした。

つばさ卒園を祝う会数日前には、東小学校の卒業式があり、つばさっ子第一期生が卒業を迎え、園に顔を見せに来てくれました。つばさ共同保育園が開園して7年目。月日が経つのは早く、地域の方にも見守られながら成長していく子どもたちを見て感慨も一入でした。これからもこのつばさが丘地域にどっしりと根をはり、子どもも大人も安心して育ちあえる保育園でいられるよう精進していきたいと思っています。さらにより良い保育園になっていけるよう、職員一同、保護者とともに日々何気ない会話を重ねながら共に学びあえる関係を築いていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願い致します。まずは運営に関することなどをお伝えします。

㊦年度末、年度初め、家庭保育のご協力をしていただいた保護者の方ありがとうございました。

㊦卒園児の保護者から中園庭（ホール横の園庭）の縄ブランコをいただきました。

## 「つばさっ子」とは1ヶ月間の園での様子を知らせるお便りです

- ①子どもの世界を理解してもらう = 大人の感覚では理解不可能なことを子どもはやらかします。子ども理解が進めば誤った見方、過度な心配、不安が解消できると思います。
- ②子どもの発達の特徴を理解してもらう = 子どもにはその年齢の発達の特徴があります。それを理解すれば慌てることなく子どもに対応することができると思います。
- ③わが子理解、よその子理解をしてもらう = わが子の特徴を知るとわが子との付き合い方がわかります。他人の子どもを知ることで偏見が克服できます。子どもは色々な影響を受けながら成長します。もちろん親の影響が大きいと思いますが、友達や保育士や周囲の大人の影響も大きいのです。子育てを親だけで抱え込むと確実にしんどくなります。特にわが子ながら手がやける、この子には疲れると感じている保護者の方は「みんなと一緒に育ててもらおう」と考えてみて下さい。子どもはみんな一人ひとり違います。だから保育士も対応に悩みます。職員と保護者は子育てのパートナーです。支え合って子育てしていきましょう。そのきっかけづくりのための『つばさっ子』です。大いに活用していただければと思います。

## 園内における子どもの写真撮影についてのお願い

最近まで、保育中（又は行事）の子ども様子など保護者による個人撮影には、規制を設けていませんでした。しかし、規制を設けたほうが良いと思う出来事がありました。それは、園内で子ども同士が遊んでいる写真をLINEやフェイスブックなどのSNSに載せていた人がいたことです。掲載した人は全く悪意なく楽しげに遊んでいる様子を知らせたいとの思いだったようですが、その出来事を職員は知りませんでした。保護者の了解もなく、園内での写真が掲載されている事実を知った時点ですぐに写真は削除してもらいました。今後、SNSの掲載など、不特定多数の人の目に触れるという事はあらゆる危険が伴うという認識をもってもらった上で、写真の使い方には細心の注意を払い、載せた際には保護者の責任で行って下さい。もし今後、無断掲載が行われたときには撮影禁止となる事も了承して下さい。一人一人の意識で子ども達を守ってください。ご理解の程、よろしくお願い致します。

